



空本和助先生のご逝去を悼む

フリーフラグ

広島大学教育学部

教育学部 上原貞雄

名誉教授空本和助先生は、去る8月5日、心不全のため、逝去されました。85歳のご生涯でございました。ここに、慎んで哀悼の意を捧げます。

先生は、昭和7年、広島文理科大学（教育学科）ご卒業後、福島県師範学校を始め、広島師範学校を含めて、実に40余年にわたり教育と研究の道を一筋に歩まれました。とりわけ広島大学創設による三原分校ご勤務以来、広島大学教授として過された20年間は、学問研究、教員養成、さらには大学管理にも大きく貢献されました。

教育学部三原分校時代には、女子初等教員の養成に加えて、分校主事として東雲分校との統合に責任者として奔走尽力され、円滑な統合に導かれたご功績はよく知られています。



前川力先生のご逝去を悼む

理学部 紀隆雄

広島大学名誉教授前川力先生は去る8月19日、腎不全のため80余年の生涯を閉じられました。

先生は昭和7年広島文理科大学物理学科をご卒業になり、戦時中は海軍航空廠で、戦後は鉄道技術研究所で航空機の性能向上やトンネルの防災対策等に多くの成果を挙げられました。昭和25年広島大学に着任されてからは流体力学の研究室を創設され乱流の研究に取り組まれました。その間、理学部長・附属図書館長等の要職を歴任される一方、昭和41年からは日本学会会議会員として12年もの間、日本の学術の進展に尽力されました。また送

また、教育学部に移られてからは、教育学科、特に教育行財政学講座担当教授として懇篤かつ熱心に後進の研究指導にあたられました。

ご専門の教育学研究につきましては、わが国では先駆的とされるフレーベルの研究のほか、特に大きなご業績として、長年手がけられ、学界からも高い評価を受けました「イギリス教育制度の研究」があげられます。

広島大学に続いて広島文教女子大学ご退官後、お元気で毎日読書や散歩など悠々自適のご生活と伺っておりましただけに、突然にこのようにお別れしなければならなくなったのは、まことに残念です。

先生のご功績とお人がらをしのび、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

電線用の鉄塔倒壊の原因調査や、瀬戸内海地域の災害科学や環境保全の問題にも早くから取り組まれ、地域社会のためにも多方面に活躍されました。広島大学退官後は広島工業大学学長として昭和56年まで2期8年の任期を全うされるなど、学界・教育界での御功績は枚挙にいとまがありません。先生のお人柄は温厚そのもので、長年近くに居ながら大きなお声を聞いたことはありません。今春、門下生の方々が、傘寿のお祝いをされ、まだまだお元気のことと安心していただけました。ここに慎んでご冥福をお祈りいたします。